

～Thank you～

谷地南部小学校
校内研究だより
2023. 6. 19
No.5 文責 菅野

読書感想文・感想画のヒント

5月26日は、教頭先生に講師になっていただき、読書感想文や感想画についてのお話をいただきました。谷地西部小学校から大前先生も参加してくださいました。ありがとうございます。

そもそも読書感想文・感想画はなぜあるのでしょうか。私は、そんなことを考えたこともありませんでした。夏休みの課題として毎年経験していたので、当たり前にするものだと思っていました。

初めに教頭先生から、**読書感想文の目的は「読書を推進するためのもの」**と教えていただきました。つまり、感想文を書かせることが目的ではなく、本を読んでもらうことが目的になります。ただ単に書かせようとすると、子どもの負担になり、読書を推進できず逆効果になってしまいます。

では、どうすれば読書推進につながる感想文の取り組みになるのでしょうか。まずは、自分の経験とつながる本に出会うことが大切だそうです。自分の経験と本の内容が結びつくと、読書の意欲も高まり、いい感想文を書くことにつながるそうです。そんな本と子ども自身が出会うことはなかなか難しいように思えます。そんな時こそ、日頃から、本に出会う機会を作っていく必要があります。

次に、読書感想画についてです。**感想画のいいところは、個性を発揮できる・使う道具を自分で選べる点**です。表現方法が自由なので、子どもの感じたことがストレートに出て面白そうです。

授業で行うためには、いくつか工夫が必要です。まずは、子どもたちが想像力を働かせて描けるように、本の絵を見せずに文だけで読み聞かせを行う方法です。しかし、これについては耳だけで映像を想像することが難しい子もいるという安達先生の鋭い視点からの話もありました。確かに想像だけでは難しい子も多いのではないかと思います。そんな児童に対して私だったらどうするかを考えると、「本の内容に出てくる想像しやすい物を描いてみよう」とアドバイスしたらどうかと考えました。例えば、白雪姫の本だとすると、「白雪姫が食べたりんごはどんなりんごかな。」と聞くと、どんな様子か想像して描きやすいのではないかなと思いました。他の先生方は、もしそんな子がいたらどんな手立てをとりますか。ぜひ教えて頂けると幸いです。

お話していただいた教頭先生をはじめ、学びカフェに参加していただいた先生方からいろいろな体験や悩みを聞いてとても勉強になりました。いろいろなヒントをいただきありがとうございました。

今後の予定（前期） ※以前の予定と変更になりました。

日程	内容
6月23日	谷地西部小学校の 白田 敏幸校長をお招きします。 水泳の指導について 複式の授業について
9月4日	早稲田大学 小林教授と大学生と学びカフェ